

4 直腸癌(前方切除例のみ) (症例/年) 効率的血液準備法 注1(T&S法、MSBOS、SBOE、該当無し)

注1:該当するものに○を付けて下さい。

注2:「投与直前」とは、術前1日以内

使用薬剤 投与量 患者番号 (I.D.番号)	年 齢	性 別	身 体 長	体 重	リンパ節 郭清	stage (分類法)	主な合併症	血液製剤の 投与の有無	出血量 ml	赤血球濃厚液(MAP)		新鮮凍結血漿		血小板濃厚液		アルブミン製剤 (別添人血漿蛋白+人血漿7073)		自己血 (貯血式又は 希釈式) *回収式を除く	備 考 注3:記録があれば 記入して下さい
										総使用量 (単位)	投与直前 検査値	総使用量 (単位)	投与直前 検査値	総使用量 (単位)	投与直前 検査値 (万/μL)	総使用量 (g)	投与直前 検査値 (g/dL)		
1 患者番号 ()		①男 ②女	cm	kg	①D0 ②D1 ③D2 ④D3 以上	()	()	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 () うち術中 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	無・有 血小板数 ()	総使用量 () うち術中 ()	無・有 アルブミン濃度 ()	探血量 注3 ml	*血液準備量 赤血球濃厚液()単位 新鮮凍結血漿()単位 血小板濃厚液()単位 アルブミン製剤()g	
2 患者番号 ()		①男 ②女	cm	kg	①D0 ②D1 ③D2 ④D3 以上	()	()	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 () うち術中 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	無・有 血小板数 ()	総使用量 () うち術中 ()	無・有 アルブミン濃度 ()	探血量 注3 ml	*血液準備量 赤血球濃厚液()単位 新鮮凍結血漿()単位 血小板濃厚液()単位 アルブミン製剤()g	
3 患者番号 ()		①男 ②女	cm	kg	①D0 ②D1 ③D2 ④D3 以上	()	()	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 () うち術中 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	無・有 血小板数 ()	総使用量 () うち術中 ()	無・有 アルブミン濃度 ()	探血量 注3 ml	*血液準備量 赤血球濃厚液()単位 新鮮凍結血漿()単位 血小板濃厚液()単位 アルブミン製剤()g	
4 患者番号 ()		①男 ②女	cm	kg	①D0 ②D1 ③D2 ④D3 以上	()	()	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 () うち術中 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	無・有 血小板数 ()	総使用量 () うち術中 ()	無・有 アルブミン濃度 ()	探血量 注3 ml	*血液準備量 赤血球濃厚液()単位 新鮮凍結血漿()単位 血小板濃厚液()単位 アルブミン製剤()g	
5 患者番号 ()		①男 ②女	cm	kg	①D0 ②D1 ③D2 ④D3 以上	()	()	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 () うち術中 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	無・有 血小板数 ()	総使用量 () うち術中 ()	無・有 アルブミン濃度 ()	探血量 注3 ml	*血液準備量 赤血球濃厚液()単位 新鮮凍結血漿()単位 血小板濃厚液()単位 アルブミン製剤()g	
6 患者番号 ()		①男 ②女	cm	kg	①D0 ②D1 ③D2 ④D3 以上	()	()	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 () うち術中 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	無・有 血小板数 ()	総使用量 () うち術中 ()	無・有 アルブミン濃度 ()	探血量 注3 ml	*血液準備量 赤血球濃厚液()単位 新鮮凍結血漿()単位 血小板濃厚液()単位 アルブミン製剤()g	
7 患者番号 ()		①男 ②女	cm	kg	①D0 ②D1 ③D2 ④D3 以上	()	()	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 () うち術中 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	無・有 血小板数 ()	総使用量 () うち術中 ()	無・有 アルブミン濃度 ()	探血量 注3 ml	*血液準備量 赤血球濃厚液()単位 新鮮凍結血漿()単位 血小板濃厚液()単位 アルブミン製剤()g	
8 患者番号 ()		①男 ②女	cm	kg	①D0 ②D1 ③D2 ④D3 以上	()	()	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 () うち術中 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	無・有 血小板数 ()	総使用量 () うち術中 ()	無・有 アルブミン濃度 ()	探血量 注3 ml	*血液準備量 赤血球濃厚液()単位 新鮮凍結血漿()単位 血小板濃厚液()単位 アルブミン製剤()g	

5 胸部食道癌(内視鏡術は除く) (症例/年) 効率的血液準備法 注1(T&S法、MSBOS、SBOE、該当無し)

注1:該当するものに○を付けて下さい。

注2:「投与直前」とは、術前1日以内

使用薬剤 投与量 患者番号 (I. D. 番号)	年 齢	性 別	身 長	体 重	リンパ節 郭清	stage (分類法)	主な合併症 術前の併用療法	血液製剤の 投与の有無	出血量	赤血球濃厚液(MAP)		新鮮凍結血漿		血小板濃厚液		アルブミン製剤 (加算入血漿蛋白・人血漿70g/L)		自己血 (貯血式又は 希釈式) *回収式を除く	備 考 注3:記録があれば 記入して下さい
										総使用量 (単位)	注2 投与直前 検査値	総使用量 (単位)	注2 投与直前 検査値	総使用量 (単位)	注2 投与直前 検査値 (万/μL)	総使用量 (g)	注2 投与直前 検査値 (g/dL)		
1 患者番号 ()		①男 ②女	cm	kg	①D0 ②D1 ③D2 ④D3以上	()	合併症 無・有 () 併用療法 ①化学療法 ②放射線照射	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 () うち術中 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) () APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 血小板数 ()	総使用量 () うち術中 ()	アルブミン濃度 ()	採血量 注3 ml	*血液準備量 ()単位 赤血球濃厚液()単位 新鮮凍結血漿()単位 血小板濃厚液()単位 アルブミン製剤()g
2 患者番号 ()		①男 ②女	cm	kg	①D0 ②D1 ③D2 ④D3以上	()	合併症 無・有 () 併用療法 ①化学療法 ②放射線照射	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 () うち術中 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) () APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 血小板数 ()	総使用量 () うち術中 ()	アルブミン濃度 ()	採血量 注3 ml	*血液準備量 ()単位 赤血球濃厚液()単位 新鮮凍結血漿()単位 血小板濃厚液()単位 アルブミン製剤()g
3 患者番号 ()		①男 ②女	cm	kg	①D0 ②D1 ③D2 ④D3以上	()	合併症 無・有 () 併用療法 ①化学療法 ②放射線照射	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 () うち術中 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) () APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 血小板数 ()	総使用量 () うち術中 ()	アルブミン濃度 ()	採血量 注3 ml	*血液準備量 ()単位 赤血球濃厚液()単位 新鮮凍結血漿()単位 血小板濃厚液()単位 アルブミン製剤()g
4 患者番号 ()		①男 ②女	cm	kg	①D0 ②D1 ③D2 ④D3以上	()	合併症 無・有 () 併用療法 ①化学療法 ②放射線照射	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 () うち術中 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) () APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 血小板数 ()	総使用量 () うち術中 ()	アルブミン濃度 ()	採血量 注3 ml	*血液準備量 ()単位 赤血球濃厚液()単位 新鮮凍結血漿()単位 血小板濃厚液()単位 アルブミン製剤()g
5 患者番号 ()		①男 ②女	cm	kg	①D0 ②D1 ③D2 ④D3以上	()	合併症 無・有 () 併用療法 ①化学療法 ②放射線照射	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 () うち術中 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) () APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 血小板数 ()	総使用量 () うち術中 ()	アルブミン濃度 ()	採血量 注3 ml	*血液準備量 ()単位 赤血球濃厚液()単位 新鮮凍結血漿()単位 血小板濃厚液()単位 アルブミン製剤()g
6 患者番号 ()		①男 ②女	cm	kg	①D0 ②D1 ③D2 ④D3以上	()	合併症 無・有 () 併用療法 ①化学療法 ②放射線照射	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 () うち術中 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) () APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 血小板数 ()	総使用量 () うち術中 ()	アルブミン濃度 ()	採血量 注3 ml	*血液準備量 ()単位 赤血球濃厚液()単位 新鮮凍結血漿()単位 血小板濃厚液()単位 アルブミン製剤()g
7 患者番号 ()		①男 ②女	cm	kg	①D0 ②D1 ③D2 ④D3以上	()	合併症 無・有 () 併用療法 ①化学療法 ②放射線照射	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 () うち術中 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) () APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 血小板数 ()	総使用量 () うち術中 ()	アルブミン濃度 ()	採血量 注3 ml	*血液準備量 ()単位 赤血球濃厚液()単位 新鮮凍結血漿()単位 血小板濃厚液()単位 アルブミン製剤()g
8 患者番号 ()		①男 ②女	cm	kg	①D0 ②D1 ③D2 ④D3以上	()	合併症 無・有 () 併用療法 ①化学療法 ②放射線照射	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 () うち術中 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) () APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 血小板数 ()	総使用量 () うち術中 ()	アルブミン濃度 ()	採血量 注3 ml	*血液準備量 ()単位 赤血球濃厚液()単位 新鮮凍結血漿()単位 血小板濃厚液()単位 アルブミン製剤()g

6 脳腫瘍(神経膠腫又は髄膜腫に限る) (症例/年) 効率的血液準備法 注1(T&S法、MSBOS、SBOE、該当無し)

注1:該当するものに○を付けて下さい。

注2:「投与直前」とは、術前1日以内

使用薬剤 投与量	年 齢	性 別	身 長	体 重	疾患名 stage (分類法)	主な合併症	血液製剤の 投与の有無	出血量 ml	赤血球濃厚液(MAP)		新鮮凍結血漿		血小板濃厚液		アルブミン製剤 <small>(加熱人血漿蛋白+人血清7.7%)</small>		自己血 (貯血式又は 希釈式) *回収式を除く	備 考 注3:記録があれば 記入して下さい
									総使用量 (単位)	投与直前 検査値	総使用量 (単位)	投与直前 検査値	総使用量 (単位)	投与直前 検査値	総使用量 (g)	投与直前 検査値		
患者番号 ()	①男 ②女	cm	kg	①神経膠腫 ②髄膜腫 stage ()	無・有	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 () うち術中 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) APTT値 (%) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 血小板数 ()	総使用量 () うち術中 ()	無・有 アルブミン濃度 ()	探血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ()単位 赤血球濃厚液 ()単位 新鮮凍結血漿 ()単位 血小板濃厚液 ()単位 アルブミン製剤 ()g	
患者番号 ()	①男 ②女	cm	kg	①神経膠腫 ②髄膜腫 stage ()	無・有	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 () うち術中 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) APTT値 (%) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 血小板数 ()	総使用量 () うち術中 ()	無・有 アルブミン濃度 ()	探血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ()単位 赤血球濃厚液 ()単位 新鮮凍結血漿 ()単位 血小板濃厚液 ()単位 アルブミン製剤 ()g	
患者番号 ()	①男 ②女	cm	kg	①神経膠腫 ②髄膜腫 stage ()	無・有	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 () うち術中 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) APTT値 (%) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 血小板数 ()	総使用量 () うち術中 ()	無・有 アルブミン濃度 ()	探血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ()単位 赤血球濃厚液 ()単位 新鮮凍結血漿 ()単位 血小板濃厚液 ()単位 アルブミン製剤 ()g	
患者番号 ()	①男 ②女	cm	kg	①神経膠腫 ②髄膜腫 stage ()	無・有	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 () うち術中 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) APTT値 (%) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 血小板数 ()	総使用量 () うち術中 ()	無・有 アルブミン濃度 ()	探血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ()単位 赤血球濃厚液 ()単位 新鮮凍結血漿 ()単位 血小板濃厚液 ()単位 アルブミン製剤 ()g	
患者番号 ()	①男 ②女	cm	kg	①神経膠腫 ②髄膜腫 stage ()	無・有	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 () うち術中 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) APTT値 (%) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 血小板数 ()	総使用量 () うち術中 ()	無・有 アルブミン濃度 ()	探血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ()単位 赤血球濃厚液 ()単位 新鮮凍結血漿 ()単位 血小板濃厚液 ()単位 アルブミン製剤 ()g	
患者番号 ()	①男 ②女	cm	kg	①神経膠腫 ②髄膜腫 stage ()	無・有	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 () うち術中 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) APTT値 (%) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 血小板数 ()	総使用量 () うち術中 ()	無・有 アルブミン濃度 ()	探血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ()単位 赤血球濃厚液 ()単位 新鮮凍結血漿 ()単位 血小板濃厚液 ()単位 アルブミン製剤 ()g	
患者番号 ()	①男 ②女	cm	kg	①神経膠腫 ②髄膜腫 stage ()	無・有	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 () うち術中 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) APTT値 (%) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 血小板数 ()	総使用量 () うち術中 ()	無・有 アルブミン濃度 ()	探血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ()単位 赤血球濃厚液 ()単位 新鮮凍結血漿 ()単位 血小板濃厚液 ()単位 アルブミン製剤 ()g	

7 脳血管疾患(くも膜下出血又は脳内出血に限る。但し脳血管クリッピングは除く。) (症例/年) 効率的血液準備法 注1(T&S法、MSBOS、SBOE、該当無し)

注1:該当するものに○を付けて下さい。 注2:「投与直前」は、術前1日以内

使用薬剤 投与量 患者番号 (I. D. 番号)	年 齢	性 別	身 長	体 重	疾 患	主な合併症	血液製剤の 投与の有無	出血量	赤血球濃厚液(MAP)		新鮮凍結血漿		血小板濃厚液		アルブミン製剤 (加熱人血漿蛋白+人血凍結液)		備 考 注3:記録があれば 記入して下さい
									総使用量 (単位)	投与直前 検査値	総使用量 (単位)	投与直前 検査値	総使用量 (単位)	投与直前 検査値	総使用量 (g)	投与直前 検査値	
1 患者番号 ()		①男 ②女	cm	kg	①くも膜下 出血 ②脳内出血	無・有	①有 ②なし	出血量 ml	総使用量 () うち術中 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 血小板数 ()	総使用量 () うち術中 ()	無・有 アルブミン濃度 ()	*血液準備量 赤血球濃厚液()単位 新鮮凍結血漿()単位 血小板濃厚液()単位 アルブミン製剤()g
2 患者番号 ()		①男 ②女	cm	kg	①くも膜下 出血 ②脳内出血	無・有	①有 ②なし	出血量 ml	総使用量 () うち術中 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 血小板数 ()	総使用量 () うち術中 ()	無・有 アルブミン濃度 ()	*血液準備量 赤血球濃厚液()単位 新鮮凍結血漿()単位 血小板濃厚液()単位 アルブミン製剤()g
3 患者番号 ()		①男 ②女	cm	kg	①くも膜下 出血 ②脳内出血	無・有	①有 ②なし	出血量 ml	総使用量 () うち術中 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 血小板数 ()	総使用量 () うち術中 ()	無・有 アルブミン濃度 ()	*血液準備量 赤血球濃厚液()単位 新鮮凍結血漿()単位 血小板濃厚液()単位 アルブミン製剤()g
4 患者番号 ()		①男 ②女	cm	kg	①くも膜下 出血 ②脳内出血	無・有	①有 ②なし	出血量 ml	総使用量 () うち術中 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 血小板数 ()	総使用量 () うち術中 ()	無・有 アルブミン濃度 ()	*血液準備量 赤血球濃厚液()単位 新鮮凍結血漿()単位 血小板濃厚液()単位 アルブミン製剤()g
5 患者番号 ()		①男 ②女	cm	kg	①くも膜下 出血 ②脳内出血	無・有	①有 ②なし	出血量 ml	総使用量 () うち術中 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 血小板数 ()	総使用量 () うち術中 ()	無・有 アルブミン濃度 ()	*血液準備量 赤血球濃厚液()単位 新鮮凍結血漿()単位 血小板濃厚液()単位 アルブミン製剤()g
6 患者番号 ()		①男 ②女	cm	kg	①くも膜下 出血 ②脳内出血	無・有	①有 ②なし	出血量 ml	総使用量 () うち術中 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 血小板数 ()	総使用量 () うち術中 ()	無・有 アルブミン濃度 ()	*血液準備量 赤血球濃厚液()単位 新鮮凍結血漿()単位 血小板濃厚液()単位 アルブミン製剤()g
7 患者番号 ()		①男 ②女	cm	kg	①くも膜下 出血 ②脳内出血	無・有	①有 ②なし	出血量 ml	総使用量 () うち術中 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 血小板数 ()	総使用量 () うち術中 ()	無・有 アルブミン濃度 ()	*血液準備量 赤血球濃厚液()単位 新鮮凍結血漿()単位 血小板濃厚液()単位 アルブミン製剤()g
8 患者番号 ()		①男 ②女	cm	kg	①くも膜下 出血 ②脳内出血	無・有	①有 ②なし	出血量 ml	総使用量 () うち術中 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 血小板数 ()	総使用量 () うち術中 ()	無・有 アルブミン濃度 ()	*血液準備量 赤血球濃厚液()単位 新鮮凍結血漿()単位 血小板濃厚液()単位 アルブミン製剤()g

8 子宮癌(広汎子宮全摘術のみ) (症例/年) 効率的血液準備法 注1(T&S法、MSBOS、SBOE、該当無し) 注1:該当するものに○を付けて下さい。

注2:「投与直前」とは、術前1日以内

使用薬剤 投与量 患者番号 (I. D. 番号)	年 齢	身 長 cm	体 重 kg	stage (分類法)	主な合併症	血液製剤の 投与の有無	出血量 ml	赤血球濃厚液(MAP)		新鮮凍結血漿		血小板濃厚液		アルブミン製剤 (加熱人血漿蛋白+人血清アルブミン)		自己血 (貯血式又は 希釈式) *回収式を除く	備 考 注3:記録があれば 記入して下さい
								総使用量 (単位)	注2 投与直前 検査値	総使用量 (単位)	注2 投与直前 検査値	総使用量 (単位)	注2 投与直前 検査値 (万/μL)	総使用量 (g)	注2 投与直前 検査値 (g/dL)		
1 患者番号 ()		cm	kg	()	()	無・有 ①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml ()	総使用量 () うち術中 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 血小板数 ()	総使用量 () うち術中 ()	無・有 アルブミン濃度 ()	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ()単位 赤血球濃厚液 ()単位 新鮮凍結血漿 ()単位 血小板濃厚液 ()単位 アルブミン製剤 ()g
2 患者番号 ()		cm	kg	()	()	無・有 ①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml ()	総使用量 () うち術中 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 血小板数 ()	総使用量 () うち術中 ()	無・有 アルブミン濃度 ()	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ()単位 赤血球濃厚液 ()単位 新鮮凍結血漿 ()単位 血小板濃厚液 ()単位 アルブミン製剤 ()g
3 患者番号 ()		cm	kg	()	()	無・有 ①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml ()	総使用量 () うち術中 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 血小板数 ()	総使用量 () うち術中 ()	無・有 アルブミン濃度 ()	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ()単位 赤血球濃厚液 ()単位 新鮮凍結血漿 ()単位 血小板濃厚液 ()単位 アルブミン製剤 ()g
4 患者番号 ()		cm	kg	()	()	無・有 ①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml ()	総使用量 () うち術中 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 血小板数 ()	総使用量 () うち術中 ()	無・有 アルブミン濃度 ()	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ()単位 赤血球濃厚液 ()単位 新鮮凍結血漿 ()単位 血小板濃厚液 ()単位 アルブミン製剤 ()g
5 患者番号 ()		cm	kg	()	()	無・有 ①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml ()	総使用量 () うち術中 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 血小板数 ()	総使用量 () うち術中 ()	無・有 アルブミン濃度 ()	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ()単位 赤血球濃厚液 ()単位 新鮮凍結血漿 ()単位 血小板濃厚液 ()単位 アルブミン製剤 ()g
6 患者番号 ()		cm	kg	()	()	無・有 ①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml ()	総使用量 () うち術中 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 血小板数 ()	総使用量 () うち術中 ()	無・有 アルブミン濃度 ()	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ()単位 赤血球濃厚液 ()単位 新鮮凍結血漿 ()単位 血小板濃厚液 ()単位 アルブミン製剤 ()g
7 患者番号 ()		cm	kg	()	()	無・有 ①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml ()	総使用量 () うち術中 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 血小板数 ()	総使用量 () うち術中 ()	無・有 アルブミン濃度 ()	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ()単位 赤血球濃厚液 ()単位 新鮮凍結血漿 ()単位 血小板濃厚液 ()単位 アルブミン製剤 ()g
8 患者番号 ()		cm	kg	()	()	無・有 ①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml ()	総使用量 () うち術中 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 () うち術中 ()	無・有 血小板数 ()	総使用量 () うち術中 ()	無・有 アルブミン濃度 ()	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ()単位 赤血球濃厚液 ()単位 新鮮凍結血漿 ()単位 血小板濃厚液 ()単位 アルブミン製剤 ()g

9 分娩時異常出血 (症例/年) 効率的血液準備法 注1(T&S法、MSBOS、SBOE、該当無し) 注1:該当するものに○を付けて下さい。

注2:「投与直前」とは、術前1日以内

使用薬剤 投与量	年 齢	身 長	体 重	主な合併症	血液製剤の 投与の有無	出血量 ml	赤血球濃厚液(MAP)		新鮮凍結血漿		血小板濃厚液		アルブミン製剤 (加熱人血漿蛋白+人血清アルブミン)		自己血 (貯血式又は 希釈式) *回収式を除く	アンチロビン製剤 の使用の有無	備考
							総使用量 (単位)	注2 投与直前 検査値	総使用量 (単位)	注2 投与直前 検査値	総使用量 (単位)	注2 投与直前 検査値	総使用量 (g)	注2 投与直前 検査値			
患者番号 ()	cm	kg		無・有	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml () うち術中 ()	総使用量 () うち術中 ()	Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	無・有 総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL) FDP値 (μg/mL)	無・有 総使用量 () うち術中 ()	無・有 血小板数 () うち術中 ()	無・有 総使用量 () うち術中 ()	アルブミン濃度 () うち術中 ()	採血量 注3 ml () 使用量 ml ()	無・有 総使用量 () うち術中 ()	*血液準備量 ()単位 赤血球濃厚液 ()単位 新鮮凍結血漿 ()単位 血小板濃厚液 ()単位 アルブミン製剤 ()g
患者番号 ()	cm	kg		無・有	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml () うち術中 ()	総使用量 () うち術中 ()	Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	無・有 総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL) FDP値 (μg/mL)	無・有 総使用量 () うち術中 ()	無・有 血小板数 () うち術中 ()	無・有 総使用量 () うち術中 ()	アルブミン濃度 () うち術中 ()	採血量 注3 ml () 使用量 ml ()	無・有 総使用量 () うち術中 ()	*血液準備量 ()単位 赤血球濃厚液 ()単位 新鮮凍結血漿 ()単位 血小板濃厚液 ()単位 アルブミン製剤 ()g
患者番号 ()	cm	kg		無・有	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml () うち術中 ()	総使用量 () うち術中 ()	Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	無・有 総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL) FDP値 (μg/mL)	無・有 総使用量 () うち術中 ()	無・有 血小板数 () うち術中 ()	無・有 総使用量 () うち術中 ()	アルブミン濃度 () うち術中 ()	採血量 注3 ml () 使用量 ml ()	無・有 総使用量 () うち術中 ()	*血液準備量 ()単位 赤血球濃厚液 ()単位 新鮮凍結血漿 ()単位 血小板濃厚液 ()単位 アルブミン製剤 ()g
患者番号 ()	cm	kg		無・有	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml () うち術中 ()	総使用量 () うち術中 ()	Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	無・有 総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL) FDP値 (μg/mL)	無・有 総使用量 () うち術中 ()	無・有 血小板数 () うち術中 ()	無・有 総使用量 () うち術中 ()	アルブミン濃度 () うち術中 ()	採血量 注3 ml () 使用量 ml ()	無・有 総使用量 () うち術中 ()	*血液準備量 ()単位 赤血球濃厚液 ()単位 新鮮凍結血漿 ()単位 血小板濃厚液 ()単位 アルブミン製剤 ()g
患者番号 ()	cm	kg		無・有	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml () うち術中 ()	総使用量 () うち術中 ()	Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	無・有 総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL) FDP値 (μg/mL)	無・有 総使用量 () うち術中 ()	無・有 血小板数 () うち術中 ()	無・有 総使用量 () うち術中 ()	アルブミン濃度 () うち術中 ()	採血量 注3 ml () 使用量 ml ()	無・有 総使用量 () うち術中 ()	*血液準備量 ()単位 赤血球濃厚液 ()単位 新鮮凍結血漿 ()単位 血小板濃厚液 ()単位 アルブミン製剤 ()g
患者番号 ()	cm	kg		無・有	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml () うち術中 ()	総使用量 () うち術中 ()	Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	無・有 総使用量 () うち術中 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL) FDP値 (μg/mL)	無・有 総使用量 () うち術中 ()	無・有 血小板数 () うち術中 ()	無・有 総使用量 () うち術中 ()	アルブミン濃度 () うち術中 ()	採血量 注3 ml () 使用量 ml ()	無・有 総使用量 () うち術中 ()	*血液準備量 ()単位 赤血球濃厚液 ()単位 新鮮凍結血漿 ()単位 血小板濃厚液 ()単位 アルブミン製剤 ()g

10① 急性骨髄性白血病(16歳以上かつ化学療法のみ。) (症例/年)

総使用量は、寛解導入療法後(最終薬剤投与日をday0とする)から4週間までの血液製剤の使用量を記載して下さい。

注1:「投与直前」とは、投与前1日以内

使用薬剤 投与量 患者番号 (I. D. 番号)	年 齢	性 別	身 長	体 重	初回例 再発例 の区分	血液製剤 の投与の 有無	主な合併症	赤血球濃厚液(MAP)		新鮮凍結血漿		血小板濃厚液	
								総使用量 (単位)	注1 初回投与直前 検査値	総使用量 (単位)	注1 初回投与直前 検査値	総使用量 (単位)	注1 初回投与直前 検査値 (万/μL)
1 患者番号 ()		①男 ②女	cm	kg	①初回 ②再発	①有 ②無	無・有 ①感染症 ②DIC ③臓器出血の危険性 (有・無) ④その他 ()	総使用量 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 ()	無・有 血小板数 投与直前値 () 投与直前より前の値 ()
2 患者番号 ()		①男 ②女	cm	kg	①初回 ②再発	①有 ②無	無・有 ①感染症 ②DIC ③臓器出血の危険性 (有・無) ④その他 ()	総使用量 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 ()	無・有 血小板数 投与直前値 () 投与直前より前の値 ()
3 患者番号 ()		①男 ②女	cm	kg	①初回 ②再発	①有 ②無	無・有 ①感染症 ②DIC ③臓器出血の危険性 (有・無) ④その他 ()	総使用量 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 ()	無・有 血小板数 投与直前値 () 投与直前より前の値 ()
4 患者番号 ()		①男 ②女	cm	kg	①初回 ②再発	①有 ②無	無・有 ①感染症 ②DIC ③臓器出血の危険性 (有・無) ④その他 ()	総使用量 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 ()	無・有 血小板数 投与直前値 () 投与直前より前の値 ()
5 患者番号 ()		①男 ②女	cm	kg	①初回 ②再発	①有 ②無	無・有 ①感染症 ②DIC ③臓器出血の危険性 (有・無) ④その他 ()	総使用量 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 ()	無・有 血小板数 投与直前値 () 投与直前より前の値 ()

10② 急性リンパ性白血病(15歳以下かつ化学療法のみ。) (症例/年)

総使用量は、寛解導入療法後から、8週間迄の血液製剤の使用量を記載して下さい。

注1:「投与直前」とは、投与前1日以内

使用薬剤 投与量 患者番号 (I. D. 番号)	年 齢	性 別	身 長	体 重	初回例 再発例 の区分	血液製剤 の投与の 有無	主な合併症	寛解・ 不応 の区分	赤血球濃厚液(MAP)		新鮮凍結血漿		血小板濃厚液		免疫グロブリン製剤	
									総使用量 (単位)	注1 初回投与直前 検査値	総使用量 (単位)	注1 初回投与直前 検査値	総使用量 (単位)	注1 初回投与直前 検査値 (万/μL)	総使用量 (g)	使用理由
1 患者番号 ()		①男 ②女	cm	kg	①初回 ②再発	①有 ②無	無・有 ①感染症 ②DIC ③臓器出血の危険性 (有・無) ④その他 ()	①寛解 要日数 () ②不応	総使用量 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 ()	無・有 血小板数 投与直前値 () 投与直前より前の値 ()	総使用量 () 総投与回数 ()	①重症感染症 ②無顆粒球症 ③その他 ()
2 患者番号 ()		①男 ②女	cm	kg	①初回 ②再発	①有 ②無	無・有 ①感染症 ②DIC ③臓器出血の危険性 (有・無) ④その他 ()	①寛解 要日数 () ②不応	総使用量 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 ()	無・有 血小板数 投与直前値 () 投与直前より前の値 ()	総使用量 () 総投与回数 ()	①重症感染症 ②無顆粒球症 ③その他 ()
3 患者番号 ()		①男 ②女	cm	kg	①初回 ②再発	①有 ②無	無・有 ①感染症 ②DIC ③臓器出血の危険性 (有・無) ④その他 ()	①寛解 要日数 () ②不応	総使用量 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 ()	無・有 血小板数 投与直前値 () 投与直前より前の値 ()	総使用量 () 総投与回数 ()	①重症感染症 ②無顆粒球症 ③その他 ()
4 患者番号 ()		①男 ②女	cm	kg	①初回 ②再発	①有 ②無	無・有 ①感染症 ②DIC ③臓器出血の危険性 (有・無) ④その他 ()	①寛解 要日数 () ②不応	総使用量 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 ()	無・有 血小板数 投与直前値 () 投与直前より前の値 ()	総使用量 () 総投与回数 ()	①重症感染症 ②無顆粒球症 ③その他 ()
5 患者番号 ()		①男 ②女	cm	kg	①初回 ②再発	①有 ②無	無・有 ①感染症 ②DIC ③臓器出血の危険性 (有・無) ④その他 ()	①寛解 要日数 () ②不応	総使用量 ()	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APTT値 (%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 ()	無・有 血小板数 投与直前値 () 投与直前より前の値 ()	総使用量 () 総投与回数 ()	①重症感染症 ②無顆粒球症 ③その他 ()

10③ 急性白血病(20歳以上、同種造血幹細胞移植症例) (症例/年)

総用量は、移植後(移植日をday0とする)から4週間までの血液製剤の使用量を記載して下さい。

注1:「投与直前」とは、投与前1日以内

使用薬剤 投与量 患者番号 (I. D. 番号)	年 齢	性 別	身 長	体 重	移植及び疾患 のタイプ	血液製剤 の投与の 有無	主な合併症	赤血球濃厚液(MAP)		新鮮凍結血漿		血小板濃厚液		免疫グロブリン製剤	
								総使用量 (単位)	注1 初回投与直前 検査値	総使用量 (単位)	注1 初回投与直前 検査値	総使用量 (単位)	注1 初回投与直前 検査値 (万/ μ L)	総使用量 (g)	使用理由
1 患者番号 ()		① 男 ② 女	cm	kg	移植 ①骨髄移植 (血縁・非血縁) ②臍帯血幹細胞移植 ③末梢血幹細胞移植 疾患 ①リンパ性 ②骨髄性	①有 ②無	無・有 ①感染症 ②DIC ③臓器出血の危険性 (有・無) ④その他 ()	総使用量 ()	Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APTT値(%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 ()	血小板数 投与直前値 () 投与直前より前の値 ()	総使用量 ()	①重症感染症 ②無顆粒球症 ③その他 ()
2 患者番号 ()		① 男 ② 女	cm	kg	移植 ①骨髄移植 (血縁・非血縁) ②臍帯血幹細胞移植 ③末梢血幹細胞移植 疾患 ①リンパ性 ②骨髄性	①有 ②無	無・有 ①感染症 ②DIC ③臓器出血の危険性 (有・無) ④その他 ()	総使用量 ()	Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APTT値(%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 ()	血小板数 投与直前値 () 投与直前より前の値 ()	総使用量 ()	①重症感染症 ②無顆粒球症 ③その他 ()
3 患者番号 ()		① 男 ② 女	cm	kg	移植 ①骨髄移植 (血縁・非血縁) ②臍帯血幹細胞移植 ③末梢血幹細胞移植 疾患 ①リンパ性 ②骨髄性	①有 ②無	無・有 ①感染症 ②DIC ③臓器出血の危険性 (有・無) ④その他 ()	総使用量 ()	Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APTT値(%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 ()	血小板数 投与直前値 () 投与直前より前の値 ()	総使用量 ()	①重症感染症 ②無顆粒球症 ③その他 ()
4 患者番号 ()		① 男 ② 女	cm	kg	移植 ①骨髄移植 (血縁・非血縁) ②臍帯血幹細胞移植 ③末梢血幹細胞移植 疾患 ①リンパ性 ②骨髄性	①有 ②無	無・有 ①感染症 ②DIC ③臓器出血の危険性 (有・無) ④その他 ()	総使用量 ()	Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 ()	無・有 PT値 (INR) (%) APTT値(%) (倍) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 ()	血小板数 投与直前値 () 投与直前より前の値 ()	総使用量 ()	①重症感染症 ②無顆粒球症 ③その他 ()

血液製剤の使用状況の記入方法

平成16年度(平成16年4月1日から平成17年3月31日)の実績をお伺いします。

1. 下表の輸血用血液製剤の年間使用量を単位数(1単位は200ml由来)で記入して下さい。

(但し、自己血輸血は総使用量から除いて下さい。)

* 輸血用血液製剤の対象(製品名)は、参考2を参照して下さい。

* 廃棄分(期限内、期限外にかかわらず廃棄になったもの。日赤への返品を含む。)は除く。

製剤名	記入単位
赤血球濃厚液(MAP)	単位
新鮮凍結血漿	単位
血小板濃厚液	単位

2. 下表の血漿分画製剤の年間使用量(g)を記入して下さい。

* 備考欄の換算式により、本数からgへ換算して下さい。

* 血漿分画製剤の対象(製品名)は、参考3を参照して下さい。

製剤名	規 格	記入単位	備考
アルブミン製剤			(換算式)
加熱人血漿たん白	4.4%100ml	g	1本×4.4g
	4.4%250ml	g	1本×11g
人血清アルブミン	5%100ml	g	1本×5g
	5%250ml	g	1本×12.5g
	20%20ml	g	1本×4g
	20%50ml	g	1本×10g
	25%20ml	g	1本×5g
	25%50ml	g	1本×12.5g
	合計	g	
免疫グロブリン製剤			
静注用免疫グロブリン	10ml0.5g	g	1本×0.5g
	20ml1g	g	1本×1g
	50ml2.5g	g	1本×2.5g
	100ml5g	g	1本×5g
	合計	g	